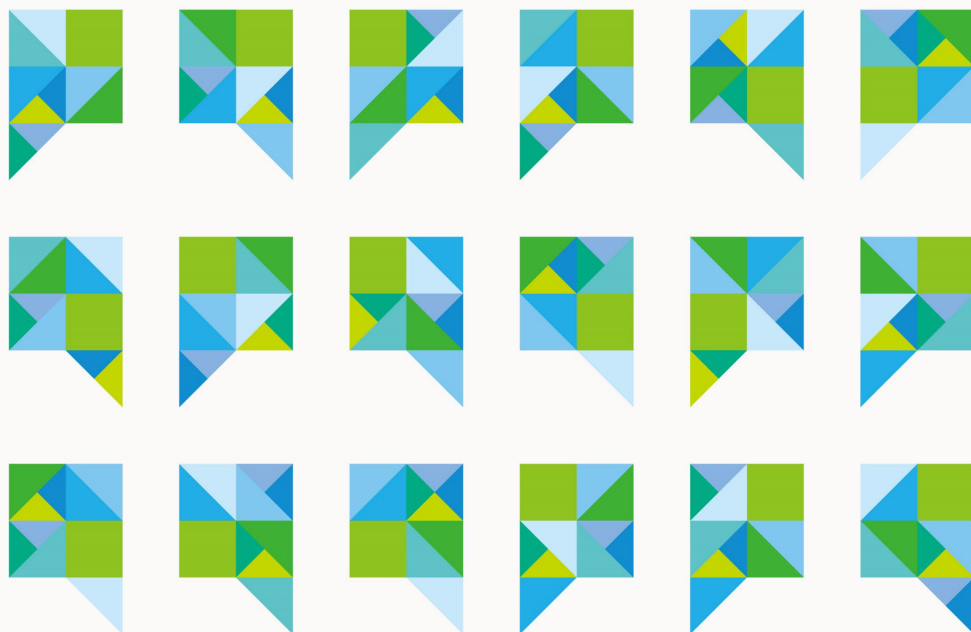


ASCC 13th
Asia
Smart City
Conference



Asian Cities Together
for a Greener Future



第13回 アジア・スマートシティ会議

ブース出展のご案内
(改訂版)

横浜市国際局
TOPPAN株式会社(本事業受託事業者)

アジアの脱炭素化・GXをテーマに、 最先端のアイデアやソリューションが 国内外から集うグローバルカンファレンス

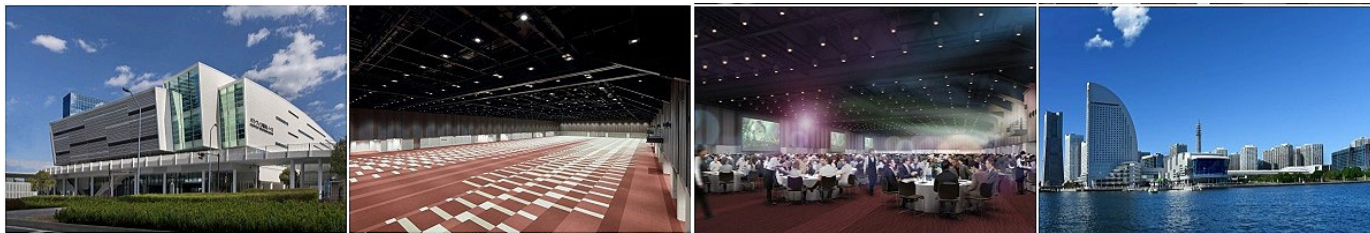
ASCC
13th
Asia
Smart City
Conference

160年前の開港以来、常に新しい技術や製品が海外から入ってきた国際イノベーション都市「横浜」。環境やエネルギー等、地球規模課題の解決に向け、多様なアイデアやナレッジ、最先端の技術が集まる“アジアのGreen Hub”として世界とつながります。

13回目となるアジア・スマートシティ会議では、「脱炭素・グリーン転換フォーメーション(GX)」をテーマに、アジア諸都市、国際機関、企業、学生など国内外の多様なステークホルダーが集い、脱炭素社会の実現に向けた課題や成長へのビジョン、最先端のテックによる革新的ソリューションを共有します。
あわせて展示やビジネス交流会も実施します。

2027年に横浜で開催されるGREEN×EXPO 2027に向け、グリーンイノベーションのショーケースとして、持続可能な都市像を世界に発信します。

つきましては本事業にご参加いただきたく、以下ご高覧の上、ご検討の程よろしくお願い申し上げます。



2024年8月
横浜市
TOPPAN株式会社

【アジア・スマートシティ会議とは】

アジア・スマートシティ会議(Asia Smart City Conference)は、アジア諸都市、政府機関、国際機関、学術機関及び民間企業等が一堂に会し、アジアにおける持続可能な都市づくりに関する知見や実践事例を共有する国際会議です。

1. 実施概要

アジアの都市と共にグリーンな未来へ Asian Cities Together for a Greener Future

名称: **第13回アジア・スマートシティ会議**
(The 13th Asia Smart City Conference)

開催日: 2024年10月22日(火)~24日(木)
10月22日: 海外都市関係者による視察
10月23日・24日: キーノート、テーマ別セッション、
ネットワーキングイベント、ブース展示等

会場: パシフィコ横浜ノース G1/G2/G3 (<https://www.pacifico.co.jp/>)
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
(みなとみらい駅から徒歩5分、桜木町駅から徒歩12分)

主催: 横浜市

参加費: 無料

来場者数: 約2,000人想定

言語: 英語(一部セッション日本語・全セッション同時通訳あり)

来場予定者: 脱炭素・GX 関連企業、行政機関(国・都市)、スタートアップ、大学等 など



2. 会場イメージ



G2 10月23日・24日
アジアの諸都市・キーパーソンによる
メインセッション／テーマ別セッション



● G2会場 メインステージ イメージ



● G1会場 展示ブース イメージ



1F
パシフィコ横浜 ノース

G1 10月23日・24日
GXビジネスセッション、
展示ブースによる来場者交流

G2

都市セッション

脱炭素をテーマとしたアジア諸都市の
キーパーソンによるビジョン・知見の共有



- アジア諸都市の首長・キーパーソンや国際援助機関の有識者が横浜に集結
- 民間企業や学術機関による革新的ソリューションの提案、公民連携を資金面で支援する国際機関の施策など、都市課題の解決・カーボンニュートラル達成に向けたビジョンや知見を共有するセッションを展開

[セッション内容](一部・予定)

- アジア諸都市等の首長級セッション
- 世界銀行、アジア開発銀行などの国際援助機関や横浜市、JICA、シティネット(アジア太平洋都市間協力ネットワーク)が主導するセッション
- アジアの脱炭素を先導するキーパーソンが登壇予定



G1

GXビジネスセッション

脱炭素社会の実現に向けた「気づき」や「発見」を得られ、
新たなビジネスチャンス・イノベーションのきっかけを創出する



- 産官学から第一線の有識者を招き、カーボンニュートラルの実現に向けた国内外の革新的な技術・アイデア・ソリューション等をシェアする多彩なセッションを実施

[セッション内容](一部・予定)

国内外のトップランナーによる
脱炭素・GX分野に資する国内外の
先進的なトレンドや未来予測を
シェアするセッション

半導体、モビリティ、サーキュラーエコ
ノミー、次世代／再生エネルギー等を
テーマに、スペシャリストによる示唆に
富んだセッション

日本企業の海外ビジネス支援に向
けた、招聘するアジア都市によるリ
バースピッチ

脱炭素分野を中心に、日本企業が海
外ステークホルダーとの連携や海外
展開に対して取り組むための支援や
ベストプラクティスの紹介

G1

ブース展示・ビジネス交流会

国内外からの参加者のネットワーキングを促進

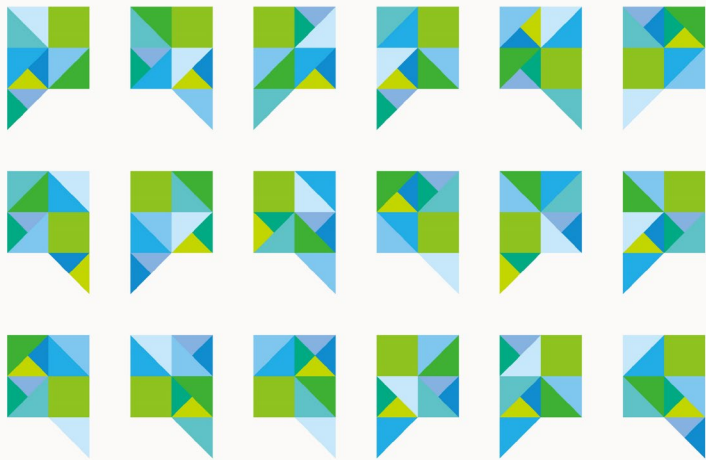
- 「Green Transformation」「最先端技術」「都市課題解決」「イノベーション」をキーテーマに約50の出展ブースを設け、企業向けの脱炭素ソリューションをショーケース
- 商談ブースの設置やビジネス交流会を通じ、ビジネス・イノベーションの創出に向けた出会いの場を提供



ASCC 13th
Asia
Smart City
Conference



Asian Cities Together
for a Greener Future



出展ブースについて

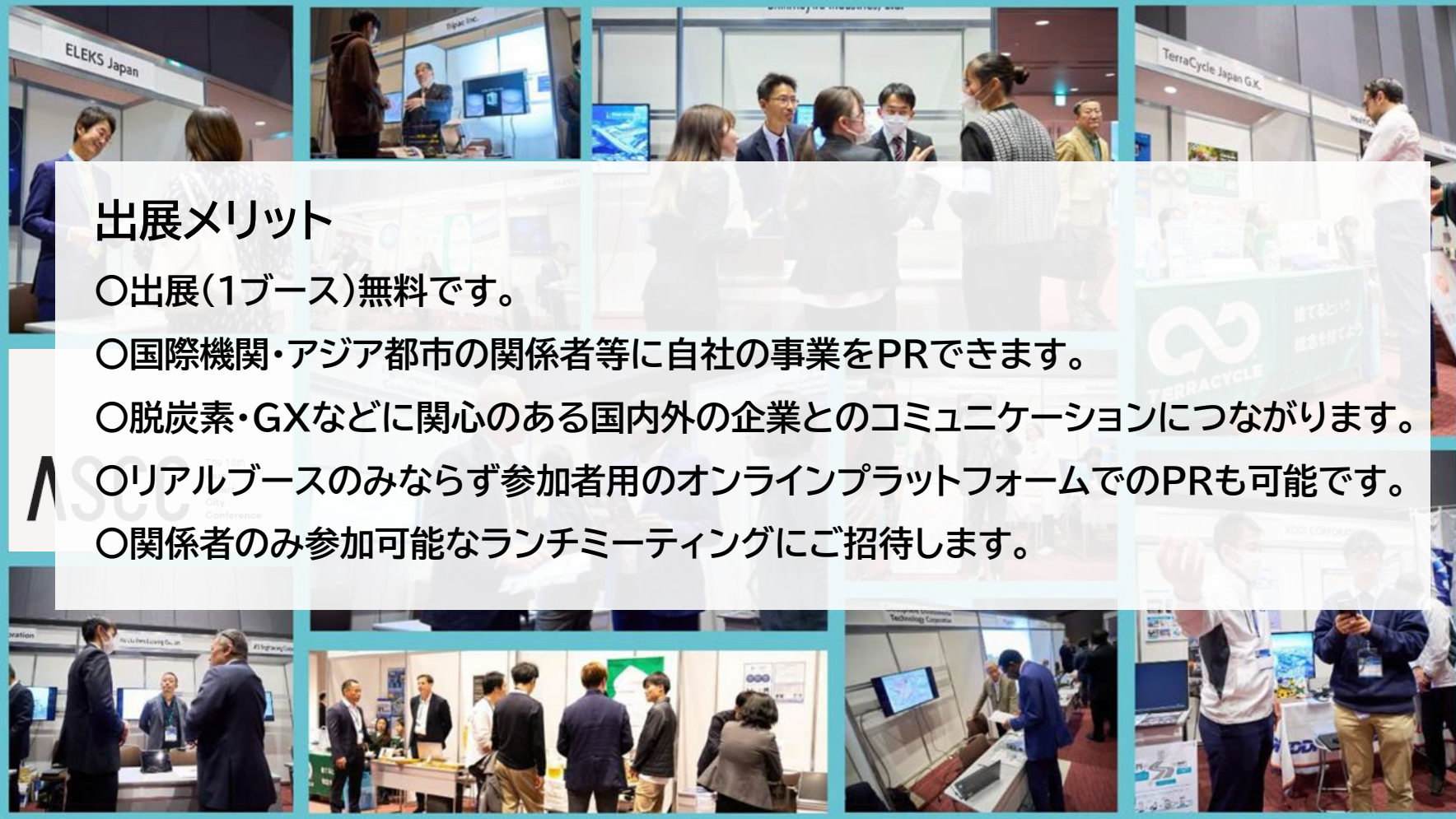
G1

ASCC内出展ブースエリア

パシフィコ横浜ノースG1ホール内に出展スペースを展開し、ビジネスチャンスを創出します

出展メリット

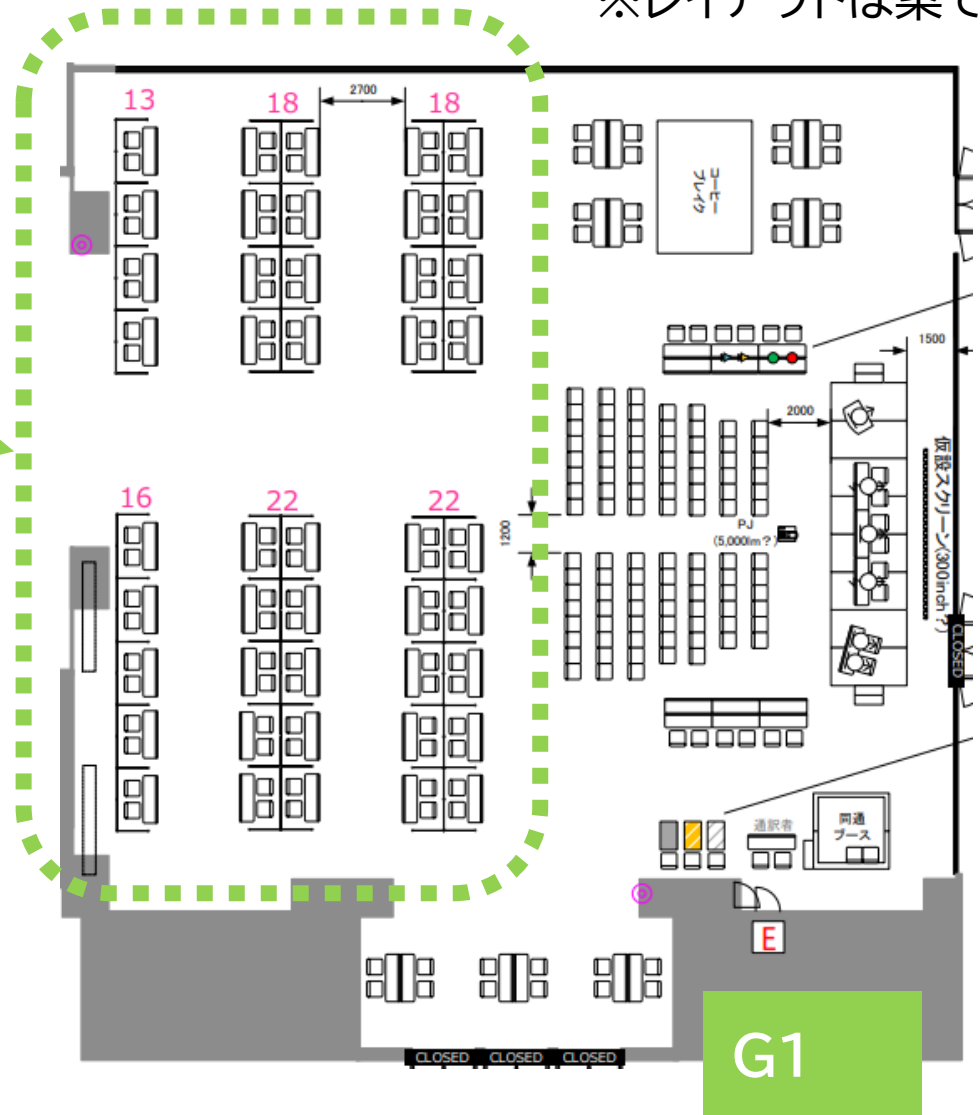
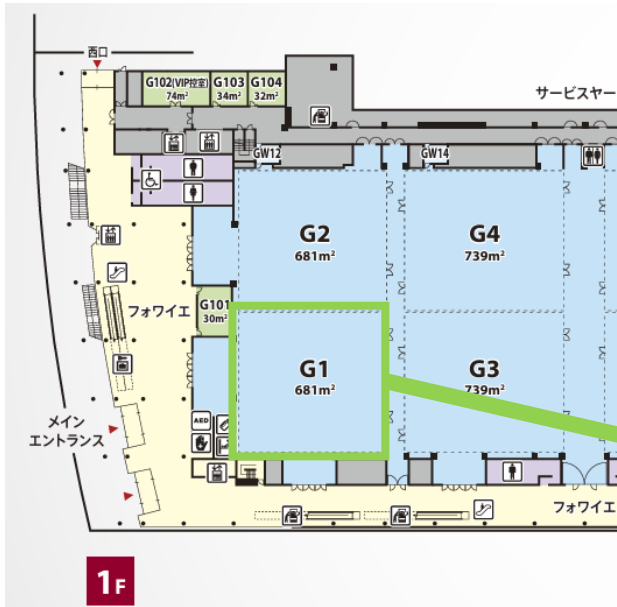
- 出展(1ブース)無料です。
- 国際機関・アジア都市の関係者等に自社の事業をPRできます。
- 脱炭素・GXなどに関心のある国内外の企業とのコミュニケーションにつながります。
- リアルブースのみならず参加者用のオンラインプラットフォームでのPRも可能です。
- 関係者のみ参加可能なランチミーティングにご招待します。



7. 出展ブースのご案内

45の基礎小間ブースと、モニターやテーブルなど備品をご用意いたします。

※レイアウトは案です



基礎小間(W1800×D900)のスペース

8. ブース仕様

■ブース仕様

○システムパネル(黒/W1800×D900×H2700)・テーブル1台・椅子2台・モニター1台(サイズ調整中)・電源

■出展費用:無料

■出展日時:2024年10月23日(水)・24日(木) 10時~17時(予定)

搬入日:10月23日(水) 8時30分~10時(予定)

搬出日:10月24日(木) 17時~18時(予定)

■申し込みにあたり

1) 出展テーマに沿った出展とします。以下の何れかのテーマに関連した出展をお願いします。
「Green Transformation」「最先端技術」「都市課題解決」「イノベーション」

2) 出展をご希望される場合は、下記リンクもしくは右のQRコードからお申込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfMUbQ_Plfbt23uCdjBgGTGn_yGYyc6HLbYLnBMD03wvJjZOg/viewform

3) モニターに流す映像コンテンツ、パネル、パンフレット・配布物などは各自お持ち込みください。

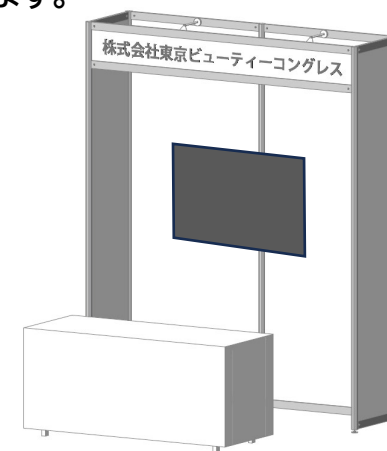
4) 試飲・試食、食品の配布はできません。

5) 応募多数の場合、市内企業及び展示スペースのテーマ・コンセプトと親和性のある企業を優先します。
事業運営者である「第13回アジア・スマートシティ会議運営事務局」(TOPPAN株式会社)が
審査・選考いたします。

6) 資料等の言語表記について、日本語・英語対応をお願い致します。

※ブース出展のご案内は以下の団体にご協力いただきました。

- ・一般社団法人YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA)
- ・横浜未来機構(YOXO)
- ・ヨコハマSDGsデザインセンター(Y-SDGs認証企業)
- ・横浜脱炭素イノベーション協議会



横浜市内の大学・大学院・専門学校等に留学中の将来を担う理工系中心の学生のうち、就職時の企業研究を兼ねてASCCの出展ブースに出展される企業の事業の勉強や、出展の準備、出展当日の通訳を兼ねた接客のお手伝いを希望している学生がいます。留学生の採用や海外ビジネスのブリッジ人材としての人材採用をお考えの企業様におかれましては下記等のパターンで学生を受入れていただけましたら幸いです。

受入れても良いという企業様がいらっしゃいましたら、いずれのパターンで受入れが可能かお知らせいただけませんかでしょうか。なお、企業様と学生との間のマッチングを含む調整は留学生が居住している横浜市国際学生会館(<https://yish-yoke.com/>)が行います。

<留学生等に関するお問い合わせ先>

横浜市国際学生会館 電話:045-507-0121 E-mail:yish@yoke.or.jp 担当:新井・紙谷・大隈 までお願いします。

留学生の特徴等

【希望する留学生の特徴】

- ・アフリカやアジア圏、太平洋諸国が中心。
- ・横浜国立大学、関東学院大学、東京都市大学の他、YMCA学院専門学校、ファッションデザイン専門学校等。
- ・理工学部、都市イノベーション、国際情報ビジネス等。
- ・日本での仕事や将来に向けて前向きな学生が多い
- ・通常会話は英語での対応が基本的には多いのですが、日本語での対応ができる留学生もいます。多くの学生が翻訳アプリ等で対応しています。
- ・休み期間(8月・9月)は、本国に帰国する留学生が多いためオンライン対応が多くなります。

【横浜市国際学生会館概要】

- ・横浜市が鶴見区に設立した13階建施設。横浜市内の学校に通う外国人留学生・研究者の宿泊施設を提供するほか、市民や地域との交流及び国際理解の推進を主な目的として、横浜と世界を結ぶ人材の育成を目指しています。

留学生の出展お手伝い(企業紹介体験)の流れ

- 1.留学生による出展当日や企業紹介体験 2.留学生による出展当日のお手伝い 3.その他 を選択ください。

8月下旬～9月中旬頃

希望者・希望企業
マッチング・顔合わせ

希望する学生を半日程度会社に受入れていただき(状況によってはZOOM可)会社概要や会社見学を実施いただく。その際に学生に例えば、ASCC出展日の貴社事業紹介のプレゼン資料作成(簡単な製品、サービスの説明資料で可)の課題を出していただく。



1 留学生による出展当日のお手伝いや企業紹介体験

9月下旬頃

学生準備期間・確認

学生への課題をオンラインか対面で確認等いただく



2 留学生による出展当日のお手伝い

10月22日(火)～24日(木)

出展準備・当日サポート

ブースの立上準備の手伝い、当日の接客のお手伝いを少なくとも半日以上させていただきます。



※こういった学生を希望、というご希望がある場合(出身国(アフリカ、アジア)、学部等)はその旨お知らせください。
※その他、上記のうち、この部分であれば実施可能であったり、上記以外で留学生とこういったことを一緒にやりたい、といったご希望などあればお聞かせください。



〈キービジュアル・コンセプト〉

緑＝大地、青＝空、水色＝水 を表しています。

世界中から集まった人々により交わされる
多様性あふれる議論＝吹き出しは、
昇華され、新たな提言となります。

提言はカモメが運び、
海を超え、言語を超えて、
横浜から世界中へ広がっていきます。

〈ロゴ〉

略称であるASCCをシンプルかつ
印象的にデザインしたロゴになります。

〈広報展開(予定)〉 ※日英表記にて実施
公式ウェブサイト(8月中旬～)、公式SNS(X、Facebook、Linkedin)、リリース配信(3回想定、PRタイムス他)、関連機関、国際関係機関等を通じた情報発信、メディアパートナーによる情報発信 等を予定

ご出展には、本コンベンションの趣旨に関連する事業を展開されている企業様であることを条件とさせていただきます。
ご検討の程よろしくお願いいたします。

締切：2024年9月10日（火）

※お申込みいただいた企業・団体様には順次ご連絡させていただきます。

協賛お問い合わせ・お申込み先

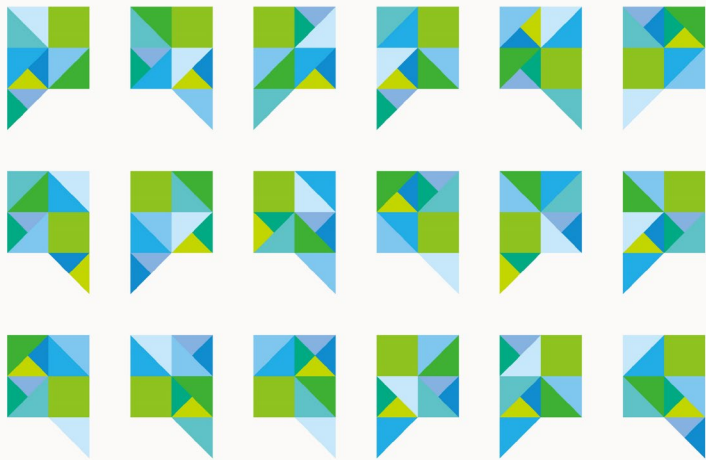
第13回アジア・スマートシティ会議運営事務局 担当:森・松本
Mail:info@ascc13th.com
Tel:045-633-9660(平日10時-18時)

※横浜市からの委託事業として、TOPPAN株式会社(協力:ルーデンス株式会社)が企画・運営しています。

ASCC 13th
Asia
Smart City
Conference



Asian Cities Together
for a Greener Future



開催実績(昨年度)

第12回アジア・スマートシティ会議(Y-SHIP2023と併催)

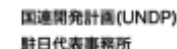
[日時]2023年11月13日(月)~15日(水) ※ 13日はプレカンファレンスイベントを実施

[会場]パシフィコ横浜ノース

[主催]横浜市

[共同運営者(50音順)] アジア開発銀行研究所(ADB I)
世界銀行東京開発ラーニングセンター(世界銀行TDLC)

[後援(Y-SHIP全体)] 内閣府 / 外務省 / 財務省 / 経済産業省 / 国土交通省 / 環境省 /
シティネット / 国際協力機構(JICA) /
国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所 / 日本貿易振興機構(JETRO)



開催実績(昨年度)

[テーマ]ゼロカーボンでつながるアジアの都市

[企画] GALERIO 企画委員会(50音順)

アジア開発銀行研究所(ADB) / 国際協力機構(JICA) / スマートシティ・インスティテュート(SCI-Japan) /
世界銀行東京開発ラーニングセンター(世界銀行TDLC) / 地球環境戦略研究機関(IGES) /
YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA) / 横浜国立大学 /
横浜市立大学の有識者及び横浜市国際局

[参加国数] 45か国・地域 (50音順)

アイルランド共和国/アゼルバイジャン共和国/アメリカ合衆国/アルメニア共和国/インド共和国/
インドネシア共和国/ウクライナ/英国/エジプト・アラブ共和国/オーストリア共和国/カナダ/大韓民国/
カンボジア王国/キルギス共和国/クック諸島/コンゴ民主共和国/サモア独立国/ジョージア/
シンガポール共和国/スリランカ民主社会主義共和国/タイ王国/タンザニア連合共和国/中華人民共和国/
ドイツ連邦共和国/日本/ネパール連邦民主共和国/パキスタン・イスラム共和国/パプアニューギニア独立国/
バングラデシュ人民共和国/フィリピン共和国/ブータン王国/ベトナム社会主義共和国/ベニン共和国/
ボツワナ共和国/ポルトガル共和国/香港/マレーシア/ミャンマー連邦共和国/南アフリカ共和国/
モーリタニア・イスラム共和国/モルディブ共和国/モンゴル国/ラオス人民民主共和国

[参加人数(3日間延べ人数)] 現地参加 約2,000名 オンライン参加 約700名

[プログラム]

- メインセッション:アジア諸都市の脱炭素に向けたビジョンの共有・発信
- テーマ別セッション:ベストプラクティスの共有、今後の方向性の議論
- GXビジネス交流会・展示会:テーマ別セッションと連動した市内企業のビジネス機会の創出
- ユースイベント:学生による研究内容の発表やディスカッションを通じた次世代育成

開催実績(昨年度)

[出展企業・組織] 28ブース(順不同)

ELEKS Japan株式会社/テラサイクルジャパン合同会社/横浜市にぎわいスポーツ文化局/
ボツワナ共和国大使館/公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会/
タイ王国大使館経済・投資事務所(BOI東京事務所)/Nekotronic株式会社/LOOVIC株式会社/
株式会社HealthCareGate/株式会社myaku/株式会社Liquitous/ChopValue Japan/
アムコン株式会社/株式会社地圏環境テクノロジー/NECネットワークスアイ株式会社/株式会社 Sansei/
新明和工業株式会社/株式会社エイト日本技術開発/株式会社エナリス/鹿島建設株式会社/
JFEエンジニアリング株式会社/トライパック株式会社/株式会社 竹中工務店/アイフォーコム株式会社/
株式会社 村田製作所/東芝インフラシステムズ株式会社/KDDI株式会社/
特定非営利活動法人 日本インド国際産業振興協会(NPO)

CHOP VALUE
ONCE A CHOPSTICK - NOW A STATEMENT

AMCON

TERRACYCLE

THAILAND
BOARD OF
INVESTMENT

eleks®

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

LOOVIC



EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

DrugN

JiIPA



KAJIMA
CORPORATION

JFE

Sansei

Tomorrow. Together
KDDI

MVA V II

TAKENAKA

アイフォーコム®
IFORCOM

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

Liquid

TRiPAC.

株式会社地圏環境テクノロジー
Geosphere Environmental Technology Corp.

Eight-Japan Engineering Consultants Inc.
EJEC

NEC Networks & System Integration Corporation

開催実績(昨年度)

2700+

Attendees

45

Countries

134

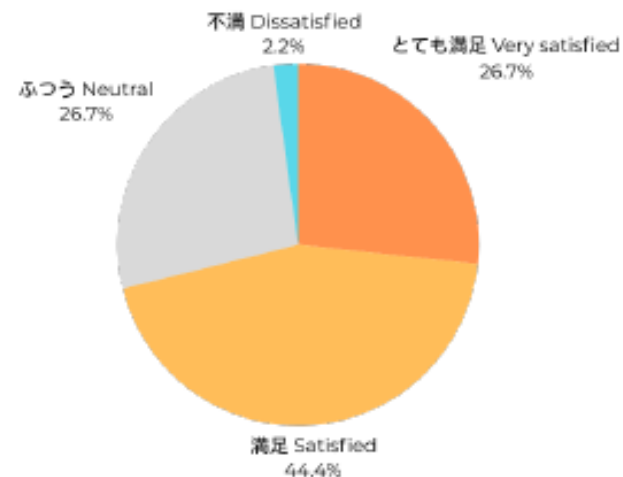
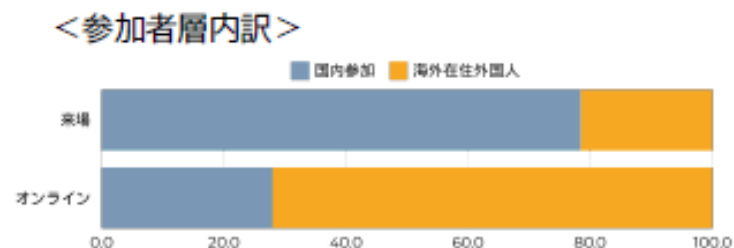
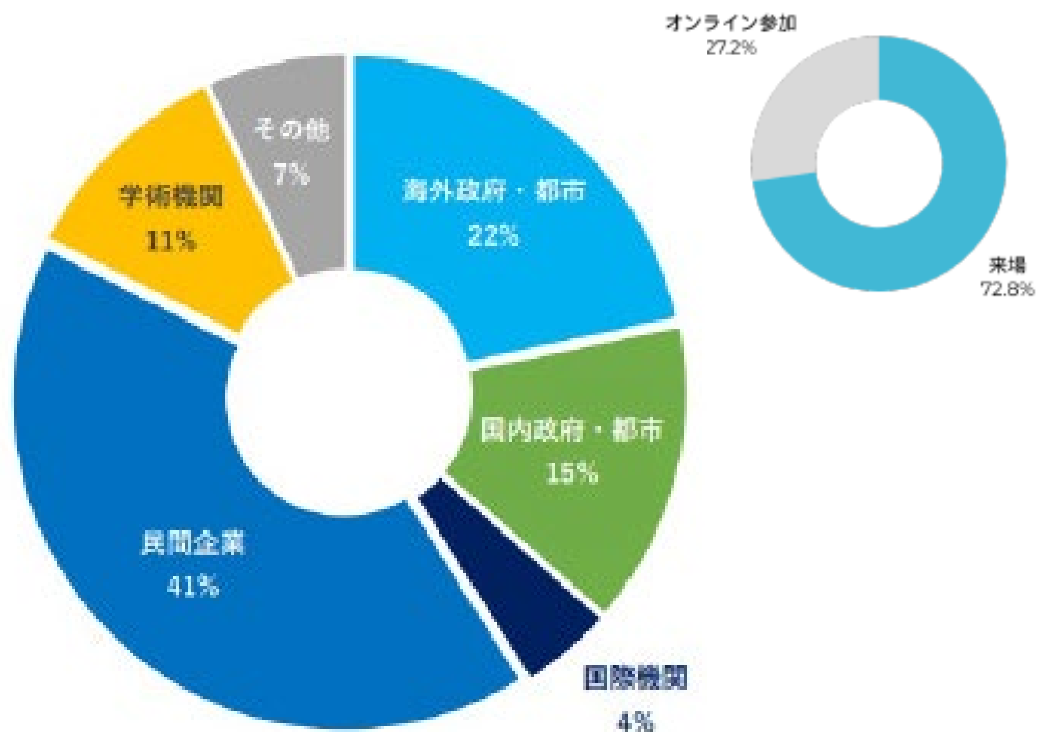
Speakers

28

Exhibitors

4

Satellite Events



開催実績(昨年度)



メインセッション 記念撮影



ビジネスセッション



ビジネスマッチング



メインセッション 山中市長・バンコク都知事



ビジネスセッション



ネットワーキング



ブース展示

昨年の報告書／WEBサイトはこちら



<https://yport.city.yokohama.lg.jp/promotion/archive>



<https://www.y-ship.yokohama/>